Press Release

2026 年 11 月 27 日

報道各位

株式会社いい生活

いい生活、繁忙期に向けた不動産会社の営業強化を支援

～いい生活営業支援のバージョンアップで検討に関わる全員へ魅力が伝わる情報を届け、住まい選びの意思決定を後押し～

バーティカル SaaS（with AI）で不動産ビジネスを進化・加速させ、業界の AI トランスフォーメーション（AX）を推進する株式会社いい生活（東京都港区、代表取締役社長 CEO：前野 善一、東証スタンダード：3796、以下：いい生活）は、年明けから本格化する不動産業界の繁忙期に向け、不動産会社の営業強化を強力に支援します。その具体的な取り組みとして、「いい生活賃貸/売買クラウド 営業支援」をバージョンアップし、LINE グループメッセージ機能と HTML メールインポート機能をリリースしたことをお知らせします。



■ 開発の背景

現在、日本において LINE やメールは生活に欠かせないコミュニケーションツールとして広く普及しています。総務省の令和 7 年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書によれば、LINE の利用率は 2025 年時点で全体の 92.9%に達し、全年代で 90%以上が利用するなど幅広い年代に

定着しています（※1）。また、モバイル社会研究所の調査でも、全体の 8 割を超える人がメールやメッセージを毎日利用していることが明らかになっています（※2）。

このような社会背景の中、例年 1 月～3 月の繁忙期にかけて、不動産会社には多くの反響や問い合わせが集中します。限られたリソースの中で効率的に商談を進め、成約率を高めるためには、顧客との円滑なコミュニケーションと、他社と差別化された魅力的な情報発信が不可欠です。

住まい選びにおいては、本人だけでなく家族やパートナーなど複数の人が関わるケースが多いにもかかわらず、不動産会社とのやりとりは本人との 1 対 1 が中心となっています。担当者から届いた物件情報や提案は、本人が家族に転送したり説明し直したりする必要があり、情報共有の手間がかかるうえ、提案の意図や物件の魅力が十分に伝わらず、検討が進みにくいことが課題でした。

さらに、顧客の関心を引きつけ、来店や内見・案内へとつなげるためには、物件や提案の魅力をより印象的に伝える情報発信が求められます。

この度、これらの課題を解決し、繁忙期における営業活動の生産性と成約率の向上を支援するため、以下の 2 つの新機能をリリースしました。不動産会社は、検討に関わる全員に、魅力が伝わる形で情報を届けられるようになります。これにより、顧客の合意形成がスムーズに進み、住まい選びの意思決定を後押しすることが期待されます。

■ 主な提供機能

1. LINE グループメッセージ：検討に関わる全員と、同じ情報を共有

LINE グループでのやりとりを、営業支援の画面から行えるようになりました。担当者と本人、家族などが同じグループに参加することで、物件情報や提案が全員に同時に届きます。転送や説明し直しの手間がなくなり、家族間での相談や合意形成がスムーズになります。グループでのやりとりも、ほかのチャネルと同じく顧客ごとに管理できます。

2. HTML メールインポート：表現の幅を広げ、魅力が伝わる情報発信を実現

これまでも HTML メールの送信には対応してきました。今回の機能で、作り込んだ HTML をそのまま活用できるようになり、表現の制約にとらわれずに、より自由度の高いリッチなコンテンツを発信できます。物件の魅力や自社のブランドを印象的に伝えることで、顧客の関心を高め、反響の獲得や来店・内見への誘導につながることが期待されます。

当社は今後も、繁忙期をはじめとする不動産業界のニーズに即した機能のバージョンアップを重ね、テクノロジーの力で不動産業界の AX（AI トランスフォーメーション）を加速させることで業務担当者がより付加価値の高い業務に集中できる環境を提供してまいります。

■ **いい生活のセキュリティ対策**

当社は、以下の 3 つの柱により、お客様のデータを「構造的」に守り続けています。

1.構造的分離

当社のオフィス（社内環境）と、お客様のデータを管理するデータ金庫（SaaS 環境）は「海を隔てた別の島」のように完全に分断されています。万が一、社内 PC がウイルスに感染しても、SaaS 環境への道を構造的に遮断しているため、二次感染が発生しない仕組みを構築しています。

2.ゼロトラスト（※3）

「誰も信用しない」ことを前提としたゼロトラストアーキテクチャを採用し、社内アクセスも空港の保安検査レベルで都度検証するモデルを採用しています。多要素認証（MFA）の徹底と、パスワードに頼らない Passkeys の標準提供により、常時厳格な本人確認を実施しています。

3.クラウドネイティブ（※4）

RDP（遠隔操作）を利用する方式とは異なり、ブラウザや API 通信による方式を一貫して採用しています。限定された指示データのみを通し、ウイルスの主要な感染経路となるドライブ共有等の仕組み自体が存在しないため、リスクを構造的に排除しています。

また、いい生活は、情報セキュリティ規格である ISO/IEC27001（ISMS）をはじめ、クラウドセキュリティ規格である ISO/IEC27017（ISMS-CLS）、IT サービスマネジメント規格である ISO/IEC20000（ITSMS）の 3 つの国際認証を取得し、厳格な運用を続けています。

いい生活は、単なるソフトウェアベンダーではなく、お客様のビジネス継続性を最優先に考える戦略的パートナーとして、今後も「止まらない不動産実務基盤」を提供し続けます。

※1 総務省 令和 7 年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書：
https://www.soumu.go.jp/main_content/001079141.pdf

※2 モバイル社会研究所（2024 年 7 月 8 日）：https://www.moba-ken.jp/project/lifestyle/20240708.html

※3 ゼロトラスト：「社内ネットワークだから安全」という従来の性善説を捨て、「すべてのアクセスを疑い、その都度検証する」という考え方

※4 クラウドネイティブ：既存のソフトウェアを単にクラウド上の「場所」に置くのではなく、「最初からクラウドで動くことを前提」に設計・構築されたシステムのこと

- **株式会社いい生活 会社概要 https://www.e-seikatsu.info/**

いい生活は「テクノロジーと心で、たくさんのいい生活を」というミッションのもと、不動産市場の AX を推進する SaaS＆データプラットフォーム企業です。国際認証に裏付けられた強固なセキュリティ基盤で、物件・オーナー・入居者・お金が交わる膨大なトランザクションを安全に処理し、高度なデータマネジメントで不動産業界の業務改革と経営判断の高度化を支援しています。変化の激しい市場環境に柔軟に対応するクラウドソリューションを通じ、「心地いいくらしが循環する、社会のしくみをつくる」というビジョンの実現を目指します。

- 商　　号：　株式会社いい生活
- 所 在 地：　東京都港区南麻布五丁目 2 番 32 号 興和広尾ビル 3F
- 設　　立：　2000 年 1 月 21 日
- 資 本 金：　628,411,540 円（2026 年 3 月末現在）
- 事業内容 ：　不動産市場向け SaaS の開発・提供

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社いい生活 マーケティング本部 広報部　安里・目黒

TEL：03-5423-7836（平日 9 時～18 時）　　E-Mail：contact.pr@e-seikatsu.co.jp